



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

- 国際会長主題 “Service Without Borders” [国境なき奉仕]
 7/27会長主題 “Service Without Borders” [国境なき奉仕]
 西日本区理事主題 “Let's move forward with conviction” [確信を持って前進しよう]
 中部部長主題 [絆をつよめ、広げようワイズの輪]
 クラブ会長主題 “Keep Our Heart and Kindness” 「思いやりと勇気を持って前進しよう」

2008年5月号

— <今月の聖句> —

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、
 万事が益となるように共に働くということを、私は知っています。(ローマの信徒への手紙8章 28節)

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2008年5月例会ご案内

◎第一例会

と き : 5月4日(日)
 と ころ : 三井(中部部長)邸
 時 間 : 午前10時集合(雨天決行)
 内 容 : ファミリープログラム
 「たけのこ堀りとランチパーティ」
 ※ ランチは各自ご用意下さい

◎第二例会

と き : 5月22日(木)
 と ころ : 名古屋YMCA

◎中部主催「HIVを知る」

と き : 5月31日(土) 14時～
 と ころ : 中央教会

◎第11回西日本区大会

「まほら大和に集う ワイズの力」
 と き : 6月14日(土)、15日(日)
 と ころ : なら100年会館
 日航ホテル奈良

◎7月一泊例会

と き : 7月5日(土)、6日(日)
 と ころ : 師崎
 釣り(希望者)
 夕食…船上バーベキュー

※ 詳細についてはメールおよび次号でお知らせします

4月例会	例 会 出 席 状 況	B Fポイント	クラブファンド(4月)
在 席 者	14名 第1例会 13名	当 月・切 手	ニコBOXノート
例会出席者	13名 第2例会 7名	当 月・現 金	感 謝 ファンド
当月出席率	93% 部 会 他 名	累 計	累 計

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

第一例会報告

開催日時 : 4月10日(木)7:00~
場 所 : 名古屋YMCA
出席者 : 坂倉、坂口、下村、三井、服部、
早川、徳田、坂野、松原、
ゲスト : 南里道子、松原メネット

卓話「今はやりの”地球温暖化”とは何か」
講師 駒宮博男氏

プロフィール:NPO法人 地球の未来理事長
名城大学大学院客員教授 東京大学中退



地球温暖化や二酸化炭素削減問題が、最近特に話題にあがっておりますので、講演をお願いしました。

このまま行ったら人類はどうなってしまうのでしょうか？持続可能な社会の実現は可能なのでしょうか？子どもたちに夢のある未来を持ってもらう為にどうすべきでしょうか？

食糧、エネルギー、水、資源の枯渇、人口、環境汚染、二酸化炭素、経済活動、などの問題について、現状と未来予測、対策についてのシナリオをいくつか挙げて頂き、それぞれについて検証して頂きました。

持続可能なシナリオは果たしてあるのでしょうか？「人口抑制、工業生産抑制、汚染除去、3R、土壌汚染軽減技術その他考え得る全ての方策を全て着実に実行すれば、何とか破局を迎えずに持続可能になる！？

しかも2002年から実行した場合、人類は果たしてこのシナリオを採用できるか？？？現状の社会経済システムのままでは、不可能では？？

今私たちは、子どもたちの未来に責任をもてますか？持続可能な社会構築は、グローバルスタンダードを決めて一斉に世界中で進めるものではありません。現実的で、実現可能性の高い答えは、「地域から」しかないような気がします。人間がコン

トロールできるのは、所詮目の前に見える範囲だけです。

持続可能な小地域の集積こそが、持続可能な社会なのでは！！(講演の内容)



講師の駒宮氏は、地域での食料の自給自足、エネルギーの自給自足(エマルジョン軽油、マイクロ水力発電)等について、地域、行政、企業、を巻き込んで活動しておられます。

私たちも未来の子どもたちの為に、正しい活動をすべきでしょうね！！

P S

地球温暖化については、平均的意見が、人類の経済活動の結果だと言うことです。

私は、宇宙的視野から自然のサイクルとしての温暖化に強く賛成する者です。温度が上がったから二酸化炭素が増えた。その意見に賛成です。

温暖化は人類のせいではない！

このことは政策に影響します。

松原

第二例会報告

開催日時 : 4月24日(木)7:00~
場 所 : 名古屋YMCA
出席者 : 三井、服部、早川、徳田、坂口、坂倉、
松原、佐藤

連絡事項

5月4日 第一例会だけのパーティー

5月31日 エイズについて(中央教会)
14:00~16:00

6月7日 潮干狩り 詳細は後日

6月 第一例会 : 飲み例会

7月5,6日 一泊例会 詳細メールにて

7月31日~8月12日

YMCAロスキャン

9月1日~9月8日

フィリピンハートキャンプ予定

(グランパスとしてどのような応援ができるか?)

荒川会長の4月メーキャップ便り

4月のメーキャップは2クラブを訪問しました。

1. 南山クラブ第一例会



南山クラブの4月第一例会はお花見例会で堀川をクルーズしました。

納屋橋を出て船上より白鳥の桜を眺め名港の夕日を見て戻ってくる約2時間のサムライクルーズです。他クラブのゲストを含めて20名の宴会クルーズは、日ごろは見られない角度から見た名古屋は一味違った味わいを楽しみました。名古屋港に出ればさすがに波の振幅が大きくなり緊張しましたが、海から見た夕日は格別でした。



2. 大阪西クラブ第一例会

大阪では今月は西クラブを訪問しました。前回はTOFで食事はなかったが、今回はホテルの夕食を楽しむことができました。



会長から誕生日メンバーへの祝福



結婚記念日メンバーの祝福

今月の発見は、西クラブでは誕生日のメンバー、結婚記念日のメンバーへのプレゼントを贈呈することでした。グランパスでも盛り上がるプログラムと思います。

今回はゲストとして京都さくらクラブの柴田氏、大阪クラブの豊島氏、宝塚クラブの長尾氏、石田会長にお会いできたことも収穫でした。

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday

佐藤 恵子 (21日)

2. 西日本区強調月間

5月 強調月間 LT

組織の維持発展にはリーダートレーニングは不可欠です。

クラブ・部・区・それぞれの場でのトレーニングは無論、常に自己研鑽に励みましょう。

理事 神谷 尚孝

サンドルクラブ 25周年記念式典訪問記

インチョンにて

荒川恭次



会長挨拶ご苦労様でした

思い起こせば1997年5月、グランパス設立5周年期の会長としてサンドルクラブを訪問しました。そして、同年6月の最後の日本区大会にはサンドルクラブメンバーに多数参加していただき、メネット連の美しいチマチョゴリが栄の町を闊歩したことを覚えています。そして縁あって今回、グランパス創立15周年期の会長として、サンドルクラブ25周年記念式典に参加することができました。

更に今回はサンドルクラブとIBC関係にある台北ユニオンクラブも交え、3クラブ合同記念例会と銘うって盛大な記念式典となりました。日本からは荒川、三井、下村、服部夫妻の5名がグランパス代表として参加し、友禪絞りののれんをジャパニーズタペストリーとして記念品贈呈しました。

こうしたワイズの歴史的なイベントに会長として参加できたことは、非常に光栄でありプレッシャーでもありました。会長挨拶も本来なら開催国の言葉で行うべきですが、ハングルへ翻訳する時間がなく、チョンさんに無理言って同時通訳していただいたことは大きな反省です。1995年からのお付き合いにもかかわらず、今だに(お互い)言葉が通じない。だけど気持ちはよく通じ合って訪問期間中は全く困りませんでした。(日本語の話せるチョンさんの存在が大きい)



3クラブ会長(台北、サンドル、グランパス)

記念例会後の出来事については、他の参加者の報告にお任せするが、サンドルクラブには前回のソウルアジア大会時と今回で2回の借りができました。これはグランパスメンバー全員に認識していただきたい。借りを返すとは何も物理的なことばかりではありません。成長著しい兄クラブに相応しい弟クラブになることが第一と考えます。別れ際には、サンドルクラブ30周年とグランパス20周年記念式典を一緒にやろうとお互い固い握手しました。あと5年、これを意識してクラブ活動したいと思います。



サンドルダンスで式典の締めくくり



ベリーダンスはベリーグッド?



「サンドルクラブ設立 25 周年記念例会」

三井秀和

3月29日インチョン市ロイヤルホテルにて行われたサンドルクラブ設立 25 周年記念例会に荒川会長、下村直前会長、服部メン、メネットと私、三井が参加いたしました。

そもそも、サンドルクラブとは私がシンガポールの国際大会に参加したとき、グランパスも設立3年目となり、IBCを探しているメモを、あせりながら大会会場に貼り付けました。それを当時のサンドルクラブ会長ジ・イルス氏が見つかり、その後互いに連絡を取り合って、何とか私と彼とが会長時に、IBCの締結に結びつきたいきさつがあります。



IBC締結時この両氏が会長でした
(サンドル事務所にて)

IBC 締結後 11 年目となり、幾度かの相互訪問を重ねた結果、現在の良好な IBC 関係になっています。

ただ、韓国の経済事情もあり以前より会員の入れ替わりが多く、締結当時の多くのチャーターメンバーも退会され、残っているのは 3 名になっています。しかし、現在も会員数は当時と同じくらいの 26 名を維持し、相変わらず「それいけサンドルクラブ」でありました。

一連の例会行事後、サンドルクラブが属している韓国中部地区部長 Son Man-ik 氏を紹介され、

部長経験者であるジ氏も交え、今年度も残り3ヶ月大変ですが、互いにがんばりましょうと熱い握手をいたしました。

また、サンドルクラブのもうひとつの IBC、台北ユニオンクラブからも 10 名の参加があり、そのクラブ会長 李 徳清氏とも、4月に予定のある私の台北訪問時に再会する約束をいたしました。

長く IBC の関係が続けてきますと、お互いのメンバーの家族や仕事の事、自分の健康など言葉の壁はありますがまるで自分のクラブメンバーと話すような間柄となっています、これが本来の IBC 関係ではないかと思えます。

次回の大きな交流、我がグランパスクラブチャーター20周年には大挙して訪日されることと思います。それまでにクラブも無事迎えられるよう体制作り頑張らしましょう。

帰国して仁川海鮮市場にて購入したメンタイコを、サンドルの皆さんにお世話になったことを感謝しつつ味わっています。



おなじみの市場にて



いつか我がクラブもこんな事務所が欲しいにや

サンドルクラブとの初交流

下村 明子

「普通の観光ツアーでは体験できないようなことができそうだから。」そう思って参加することにした2泊3日の旅行でした。飛行機に乗る瞬間からわくわくし、電話もメールも通じない環境は多忙な日常を忘れるには絶好の機会でした。

サンドルクラブとの交流については事前に「とにかくすごい！一度行って見ないとわからない。」と聞いていたので、「さて、どんなものだろうか？」と期待しておりましたが、予想をはるかに超えるおもてなしにびっくりしてしまいました。胃が壊れるほど飲み食いし、歌って踊って笑って。言葉が通じなくても皆がひとつになって楽しむことが出来、しみじみと「人間って、素晴らしい！」なんて思っていました。



昼食(骨付きカルビ) ↑

& 夕食(山盛り海鮮) ↓



サンドルクラブのメンバーの皆さんとは初日の空港から2日目の夜まで手配していただいた観光バスにて共に行動をし、ずっとお世話をしていただきました。ツアーでは行かないようなお店や公園、市場など連れて行っていただき、バスの中ではお手製のお菓子などいただき至れり尽くせりでした。



本当にいろいろとお世話になり感謝の気持ちでいっぱいだったのですが、韓国語が話せない私はその気持ちをサンドルクラブの皆さんひとりひとりに伝えることが出来ず悔しいやら悲しいやら。2日目の夜お別れをする時、ありがとうの気持ちとその思いを伝えられない悔しく悲しい気持ちが爆発し、サンドルクラブのメネットさんたちに抱きついて号泣してしまい、最後には男女問わず抱きついておいおい泣いていました(笑)。



最後に今回の旅行の暴露話をひとつ。某メンバーから「市場でたらこキムチを1万円分買ってきて。」と頼まれたのですが、1万円で購入したのは何と5キロ。大きな容器は重く、そしてスーツケースにも入らなかったため機内持ち込みを試みたのですが…。案の定、手荷物検査で捕まり再度チェックインするようにと怒られてしまいました。検査官の女性は冷ややかな目で私を見ていました。(別に犯罪者でも何でもないのであるから…ブツブツ。)荒川さんも少量のキムチで捕まり、二人で再びチェックインカウンターへ行きました。そして怖い検査官の目が私たちに向いている間に同じくキムチを持った服部夫妻は何事もなくスルー。

そして名古屋へ戻り、キムチ5キロは無事依頼者の手に渡りました。努力して運んだのできつとおい

しかつたに違いありません。私も少し買ってこればよかったかなと後悔。でも、これ以上持ちきれなかったのしかたありませんね。次回の楽しみにとおきます。



ボトルいっぱい明太子(下チャンご苦労様^O^)

サンドルのメネットはフレンドリー

服部智子



3月29日(土)仁川空港にはいつものようにメンバーとメネットが迎えに来ていました。その中のひとりのメネットが私にきづいて親しく挨拶をしてくれました。考えると今回の訪問が4回目となり、私もお顔のわかるサンドルクラブのメネットがだんだん増えてきました。これで韓国語が話せれば言うことがないのですが。

実は今までの訪問のときは少し日本語のわかるメネットがいたので、その方にいつも頼ってしまい、なかなかその他のメネットとの交流ができませんでした。今回そのジョンさんは留学中の息子さんとカナダ在住とのことでした。子供の留学に母親と一緒に行くのが韓国流とは聞いていましたが、日本とはこの辺が違いますね。というわけで頼みのジョンさんがいない。これは困ったことに(苦笑)と

思いながら式典、カラオケ二次会と時間が過ぎました。その中で不安だった言葉の壁は身振り笑顔で互いに取り払って(時にはジョンさんに助けられました)楽しい一日目となりました。

翌日の観光にも多くのメン、メネットが1日同行してくれ、お決まりの海鮮市場、スーパーマーケットとまわってもらいました。4度目の訪問の私は「柚子茶はこのマークのがほしい?コチュジャンはチューブ入りのがいい」と、こんなわがままな注文にも気持ちよくお付き合いくださいまして、本当にコマスムニダ、カムサハムニダ、ありがとう、感謝です。



ジョンさんのメネットと

3月末の忙しい時期の訪問でしたが、とても中身のたっぷり詰まったひとときでした。グランパスのメネットの皆さん、次のサンドルクラブとの交流の時には言葉の壁を越えてみませんか?

サンドル(韓国)のメンはフレンドリー

服部庄三

2月になって突然ジョンさんから私の携帯に連絡が入り、25周年の式典へのお誘いがありました(いきなり韓国から携帯電話に…もすごい時代になったものです)。何度かのやりとりの末に3月29日(土)に式典が開かれることになり、いざグランパスのメンバーに参加を聞いたところ、この時期日本は年度末、決算月でどこでも忙しい。誰が行けるのかなあ?そこでなんとか集まったのが荒川会長、三井部長、紅一点の下村さん、そしてなぜかこのところ韓国訪問無欠席の服部&メネットの5人でした。よくみれば少数精鋭(???)。急な予定のため航空券も品薄? 何とか29日(土)昼出発し、31日(月)朝帰りの便を確保。皆にスケジュールをあわせてもらいました。

出発集合は10時。恒例の30分前9時半の三井

メンからの「急げ」の TEL。もう慣れました。中部部会で勝手知ったる中部空港、チェックインの後、搭乗口での集合にして、我々2人は遅い朝食をのんびりいただきました。ちなみに帰りのインチョン空港でも、搭乗口へ急ぐ約1名を後目に、同じ方法でおみやげ店めぐりいたしました。



昔とった杵柄

サンドルの皆さんとの再会は、いつも通りお客様に最高のおもてなしをするという、韓国の方々の気持ちの表れた大歓迎を受けました。訪問も回を重ね、古いメンバーとはより気持ちが通じるようになってきた気がします。今回はインチョン市内の観光、日本人観光客ばかりのソウルと違い、普段着の韓国を見ることができました。といっても食事はいつもの大宴会、食事は残すのが礼儀というお国柄ですが、さすががこの私でも食べきれませんでした。今回初参加の下村さんも数々の初体験に感激、最後は涙のお別れとなりました。

最後に今回訪問の連絡役に、東京に留学している、チョンさんの息子チョン・ソン君に大変お世話になったことを申し添えておきます。機会があれば例会にぜひ一度出席してもらいたいと思っています。



日本対韓国戦のゲームは韓国の勝ち



サンドル事務所入り口 ↑

クラブ会長席 ↓

